

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590300059		
法人名	合資会社 大森産業		
事業所名	グループホーム樹の里おおもり		
所在地	秋田県横手市大森町字町田39-1		
自己評価作成日	平成30年12月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成31年1月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療機関との協力体制がとれており、ご利用者様の急変時はあわてることなく迅速に対応できています。ご利用者様が心地よく笑顔で暮らせる環境づくりに努め、職員がやりがいを持って働ける職場となり、お互い笑い声の多いホームであるよう取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ここに居てよかった」と利用者にも家族にも思っただけの支援を目指しています。利用者が笑顔でいられるためのケアとは何かを管理者の交替を機に再度全職員で確認し、利用者一人ひとりを受け止めてあたり前の暮らしができる環境づくりに日々努力しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当ホームの理念「ここに居てよかった」と思って頂けるよう、日々の生活の中でご利用者様の思いをくみとり笑顔を引き出すケアを心掛けています。	利用者の思いを汲み取り、行動を見守りながら個々のペースで暮らせる環境づくりに努め、理念に則った支援に繋がっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方より、お花や野菜を届けて下さったりしています。また、地域行事への参加を通して顔を覚えて頂けるよう心掛けています。	稚児行列や梵天等の地元の行事を通して利用者が地域と繋がりがりながら生活しています。周辺は高齢の住民が多く、日頃から声をかけて気遣い、地域に密着したホームとしての役割ができるよう取り組んでいます。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	出掛け先でのご利用者様への接し方、運営推進会議での活動報告等、認知症の方への支援の方法等を伝えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開催しホームでの支援と活動内容を報告し、行政、地域、ご家族からの意見を、次のサービスに活かせるよう努めています。	利用者の日常やホームの取り組みをスライドを使用し報告しています。地域の方が多く参加して意見、助言が出され、運営に活かせるよう努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への参加、地域包括支援センターからの介護相談員の派遣受け入れ等、協力関係がとれています。	更新申請や資料の提出のために窓口に出向き、また、電話で相談事項に対応していただいている他、介護相談員と利用者の会話を通してケアに反映できるよう努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員長が先に立って勉強会を行い、ご利用者様に不快な思いをさせないように取り組んでいます。	職員は研修等を通じて理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	定期で委員会を開催したり、外部研修に参加をして虐待防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	理解できている職員も増えているが、新人職員に対しても制度を学んでもらうよう努めていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退居の際は、管理者より文書による十分な説明を行い、ご利用者様及びご家族様のご理解を得ています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	地域包括支援センターからの相談員派遣を受け入れており、ご利用者様のご意見を聴きだして頂いたり、面会時、ご家族様より意見要望をお話して頂いたり、様々な角度からの対応に努めています。	利用者、家族が意見を言いやすいよう日頃から環境づくりに努め、利用者の要望には都度応えています。家族からも利用者の状態を伝えながら意向の引き出しに努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常業務、申し送りを通しての業務改善に関する意見等を代表社員に伝え、運営に反映させています。	利用者の状態の変化に安全に対応するための備品の整備や建物環境の改善等、職員の意見や提案が運営に反映されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は代表社員に職員個々の目標と実績を報告し、向上心を持って働ける環境整備をお願いし、意見を反映しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場研修会への手当や、各種資格取得の研修費の補助を行う等改善しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	横手市グループホーム情報交換会に参加し、他のグループホームとの人事交流を行っています。情報共有とそこで得た発見をサービス向上につなげております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様のペースを大切にして、要望や不安を話しやすい信頼関係を築けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の思いを大切にして、できることできないことをしっかり見極めると共に、思いに近づけるケアを心掛けています。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活する中で支えあいながらよい関係を築けるように支援し、ゆっくりとした時間を大切にしています。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の他にも、受診の際は同行していただき、ご家族とのつながりを大切にしています。受診後の会話も楽しんでいます。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の協力により、馴染みの美容院の利用や親しい方との面会が途切れることがないように、いつでも来て頂けるような環境づくりに努めています。	これまでの生活習慣を尊重してホームでの暮らしに活かし、好きなことを続けたり、思い入れのある場所に出かけたり、また、家族との良好な関係も継続できるよう支援しています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の性格を把握し、ご利用者様同士の関係が深まるよう努めています。交流の難しいご利用者様には、職員が寄り添い対応を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で一度ホームを離れたご利用者様にも面会や、ご家族と連絡を取る等して経過を把握しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の何気ない会話の中で、本人の思いをくみ取るように心掛けています。本人の「……をしたい」という思いはできるだけ叶えるよう努めています。	利用者の具体的な意向に沿えるよう検討して対応しています。日々の暮らしの中から職員の気づきをアセスメントに活かし、介護計画の見直しに繋がっています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの施設やご家族様からの情報を提供していただき、できる限り生活環境を大きく変えないよう努めています。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録、ホーム日誌、体調管理表への記載内容を共有することで、現状把握と観察に努めています。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の申し送り、職員間の会話の中でご利用者様の思いを共有し、またモニタリングカンファレンスを行い、現状に合った介護計画作成に努めています。	日々の申し送りやカンファレンスで検討し、利用者、家族の意向を踏まえて介護計画を作成しています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録することで全職員が情報共有して統一した支援ができるようにしています。課題等がみつかった際は見直ししています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	友人、知人より連絡があり、何十年ぶりの再会があったりなど、人との繋がりへの把握に努め、継続できるように努めています。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関に限らず状況に合わせて、これまでのかかりつけ医への受診対応を行っています。かかりつけ薬局とも情報共有、アドバイス等頂いております。	希望に沿って対応しており、訪問診療を受けている方もおります。薬局とも協力関係を築き、また、受診状況を家族に報告して情報を共有しています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一度の訪問看護指導の際に、ご利用者様の体調について報告、相談できる体制になっております。細かい相談にも快く対応して頂いております。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、訪問看護師と話し合い、状況に応じてスムーズに入退院できるように連絡がとれています。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約の段階からご家族様の移行を聞かせていただいております。重度化した場合の治療方針について話し合い、ホームでの支援について理解していただけるよう努めています。	希望に沿って支援しており、家族の協力も得られています。両ユニットの職員がホームの方針を理解して利用者、家族を支えていけるよう取り組んでいます。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訪問看護師より、体調急変時の対応を教えて頂くことにより、急変時はあわてることなく対応できるようになっています。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害を想定した訓練を実施しています。緊急連絡網に従って行動できる体制になっており、地域、地区代表者との連携もとれています。	夜間を想定して地震、火災時の避難訓練を行っています。緊急時の備品、食料も準備しています。	水害時の対策を再検討し、冬季でも非常口が使用できるよう雪寄せを行って避難経路を確保すると共に、ユニット間の連携を図って安全に避難できる体制づくりを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりを理解し、その時その場の思いを感じ、それに合った対応を心掛けています。	職員同士が話をする時には利用者の思いに配慮できるよう努めています。利用者が自分のペースで過ごせるようにその人の思いを尊重したケアを心がけています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が希望を述べたり選んだりできるよう、日々の生活の中で自己決定できる場面づくりと声掛けを心掛けています。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間、入浴、リネン交換等職員側の都合を優先せず、本人の希望に沿った生活をしています。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	受診時、外出時の服装を一緒に考え選んでいただくように心掛けています。また、整容の乱れがないように、声掛けの他、さりげなく直させていただいています。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物、好物をきき、献立に取り入れています。料理の下処理、盛り付け、食器拭き等、一緒に他のご利用者様と行うことで会話も増えいい関係ができています。	介護度の高い方も同じテーブルに着き、声かけや介助が適切に行われて皆と一緒に食事をしています。クリスマス会等、ホームの催しには家族も参加して楽しく食事ができるよう配慮しています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導のもと、その人に合わせた食事形態(キザミ、ソフト、ミキサー食)を提供しています。食事、水分摂取量を記入し1日の摂取量確保に努めています。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご利用者様に合わせた口腔ケア用具を使用し、就寝前には洗剤を使用し義歯の清潔保持に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を大切に声掛け誘導を行っています。排泄表を使用し排泄パターンを把握し自立できるように支援を心掛けています。	入居時から布パンツで過ごしている方やオムツからリハパンに移行できた方もいて、職員全員で利用者の状況を確認しながら機能の低下を防ぎ、改善に向けて努力しています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	管理栄養士と相談し乳製品の摂取や繊維質を多く含む食材を取り入れ対応しています。テレビ体操等、体を動かす時間を増やそう努めています。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入りたい時に入浴できるように支援しています。ご利用者様の状態に合ったバス用具を準備し安全に入浴されるよう支援しています。	拒否がある場合は柔軟に対応し、一人ひとりの機能に応じて支援しており、ほぼ1日おきに入浴しています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室以外にもホールソファや畳部屋で休めるように寝具を用意して休んで頂いています。照明の調整も心掛けています。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬確認表を作成し一人一人が内服している薬の把握に努めています。薬剤師の管理指導を受けながら相談し助言をいただいています。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手工芸が好きだったり、ドラマ歌番組が好きだったり、それぞれがそれぞれの楽しみでゆっくり過ごせるよう環境づくりに努めています。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	空家になっている自宅を確認したい、昔よく行った山の景色が見たいなど、希望があればドライブに出かけています。ご家族様にもご理解ご協力を頂いております。	敷地内での食事や季節の花見を利用者は楽しんでおり、その時季に合わせて企画し、戸外で過ごす時間をつくっています。利用者それぞれの行きたい場所にも可能な限り応えて出かけています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理表を作って所持金を把握し、ご家族様面会時に確認していただいております。病院受診後に寄る売店を楽しみにされる方もいらっしゃいます。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持しているご利用様は好きな時間に通話を楽しんでいただけます。また、ホームの電話はいつでも使用できるように柔軟に対応しています。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を中心、花やちぎり絵、また季節を感じるディスプレイをしたりして工夫しています。居心地のいい空間作りを努めています。	洗面台はそれぞれの機能に応じて対応できる仕様となっており、広い浴室は暖房装置が設備されています。乾燥対策にも工夫がみられ、職員が意見を出しながら環境改善に努め、居心地良く過ごせる生活空間をつくっています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広いホールにテーブル席とソファを設置して自由に過ごしていただく共有空間があります。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具の設置をし、ベッドの向き家電の配置等、本人やご家族様に伺い要望があればすぐに対応しています。	住み慣れた環境に近い居室づくりに家族が協力し、馴染みの物に囲まれて生活している方もおります。利用者の身体状況の変化に合わせて環境を整えています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入口に目印となる装飾品や表札を掲示しています。トイレにも大きな文字で張り紙をすることでわかりやすい工夫を心掛けています。シルバーカーや車椅子での生活も安心して過ごすことができます。		